

理 科 (第 2 学年)

学年	ページ	行	変更事項	変 更 内 容	備 考
2年 1巻 資料 編	3	発表 のし かた	変更	文中の「図や写真」を「図やグラフ」に、「写真やイラスト」を「図」に変更した。	2編集の具体的方針(1)による。
2年 1巻	9	暑さ 指数 を用 いた 熱中 症の 危険 早見 表等	変更	暑さ指数(WBGT)を用いた熱中症の危険度早見表とWBGT値の区分表を削除し、原典の表の説明の後に、次の内容を追加した。 単位は気温と同じ℃で示されますが、その値は気温とは異なり、暑さ指数(WBGT)を用いた熱中症の危険度早見表によれば、WBGT値が31℃以上は危険、28～31℃未満は嚴重警戒、25～28℃未満は警戒、25℃未満は注意となります。	2編集の具体的方針(1)による。
2年 1巻	10・1 1	周期 表	変更	「周期表」を次のように「元素の記号と名前など」(見開き)と「周期表」(見開き)に分けて示す。 「元素の記号と名前など」 見開きで、左のページに原子番号、元素記号、元素の名前、常温での単体の状態、原子量をこの順に示す。右のページに、原子番号などを示す。 表中のことばの説明 番 原子番号 記号 原子の記号 名前 原子の名前 常態 常温での単体の状態 「周期表」 周期表にある原子を、金属と非金属に分けていくと、左側には金属の原子(左ページの水素以外と、右ページ中央の右下がり階段状の線の左側)、右側には非金属の原子(水素と、右ページの階段状の線の右側)が並んでいることがわかる。 非金属の単体は熱や電気を伝えにくい。一方、金属の単体は、金属光沢をもち、熱や電気を伝えやすい。	2編集の具体的方針(1)による。

				<p>表の説明</p> <ol style="list-style-type: none"> 縦の配列は族（10 以上は数符を省略）、横の配列は周期（下がり数字で示す） 3 族 6 周期の「ラン」は「ランタノイド」原子番号 57～71、3 族 7 周期の「アク」は「アクチノイド」原子番号 89～103 「ラン」「アク」以外は、外字符、大文字符を省略した原子の記号 	
2 年 1 巻	300	実験 中	変更	<p>「巻末資料 理科室の決まり」を 2 年 1 巻に移動した。また、実験中の 3 項目を次のように変更した。</p> <p>体を安定させるために、実験は基本的にいすに座って行う。立つときは椅子を実験台の下にしまう。</p>	2 編集の具体的方針 (1) (2) による。
2 年 1 巻	302		変更	<p>「巻末資料 主な薬品の性質ととりあつかいの注意」「科学であつかう量の測定と表し方」を 2 年 1 巻に移動した。</p>	2 編集の具体的方針 (1) (2) (3) による。
2 年 1 巻	303		変更	<p>「基礎操作 薬品のあつかい方」を「1 薬品のあつかい方」とし、2 年 1 巻に移動し、資料のように変更した。</p>	2 編集の具体的方針 (2) による。 資料 1 年 0 - 1 を参照
2 年 1 巻	32		変更	<p>基礎操作 レポートの書き方」を「2 レポートの書き方」とし 2 年 1 巻に移動し、レポートの例は 2 年 2 巻に記載した。結果の項目「スケッチや図、表を使ってわかりやすくまとめる。」は「文章でわかりやすくまとめ、図や表を加えてもよい。」と変更した。</p>	2 編集の具体的方針 (1) (2) (3) による。
2 年 1 巻	22		変更	<p>「基礎操作 電源装置の使い方」を「3 電源装置の使い方」とし 2 年 1 巻に移動し、以下のように変更した。</p> <p>電圧調整のし方が、ダイヤル式のもの、ボタン式のもの、つまみを左右に動かすものなどがある。ダイヤル、ボタン、つまみを組み合わせ、切り替えができるものもある。ボタン式のもの調整しやすい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 電圧を 0 にして、電源スイッチが切れていることを確かめてから、電源コードをコンセントにつなぐ。 回路につないで電源スイッチを入れ、必要な電圧を加える。 測定が終わったら、電圧を 0 にしてから、電源 	2 編集の具体的方針 (1) (2) (3) による。

				スイッチを切る。	
2年 1巻	22 25		変更	「基礎操作 簡易型電気分解装置の使い方」を削除し、また「基礎操作 そのほかの電気分解装置の使い方」を「4 電気分解装置（ホフマン型電気分解装置）の使い方」とし、資料のように変更した。また、末尾に「これ以外にも、液だめのつかない電気分解装置（H形ガラス管電気分解装置）や簡易型の装置もある。」を追加した。	2編集の具体的方針 (1)(2)(3)による。 資料2年0-1を参照
2年 1巻			追加	「5 感光器の使い方」を追加した。	2編集の具体的方針 (1)による。 資料1年0-2を参照
2年 1巻	93		変更	「基礎操作 顕微鏡の使い方」を「6 (参考) 顕微鏡」とし、資料のように変更し、2年1巻に移動した。	2編集の具体的方針 (1)(2)(3)による。 資料1年0-4を参照
2年 1巻	253		変更 差し 替え	「基礎操作 電流計の使い方」を「7 音声付電流計の使い方」とし2年1巻に移動し、資料のように差し替えた。	2編集の具体的方針(1) (2)(3)による。資料2 年0-2を参照
2年 1巻	258		変更 差し 替え	「基礎操作 電圧計の使い方」を「8 音声付電圧計の使い方」とし2年1巻に移動し、資料のように差し替えた。	2編集の具体的方針 (1)(2)(3)による。資 料2年0-3を参照
2年 1巻	283		変更	「基礎操作 検流計の使い方」を「9 参考 検流計の使い方」とし2年1巻に移動した。	2編集の具体的方針 (1)(2)(3)による。
2年 1巻	303		変更	「基礎操作 ガスバーナーの使い方」を「10 ガスバーナーの使い方」とし2年1巻に移動した。	2編集の具体的方針 (3)による。 資料1年0-9を参照
2年 1巻			追加	「11 物体の体積の調べ方」「12 参考 メスシリンダーの使い方」「13 液体のはかりとり方」「14 上皿てんびんの使い方」「15 音声付き電子てんびんの使い方」「16 音声付き温度計の使い方」を追加した。	2編集の具体的方針 (1)(2)(3)による。 資料1年0-5、資 料1年0-6、資料1 年0-7、資料1年0 -7、資料1年0- 8、資料1年0-13を 参照
2年 1巻	304		変更	「基礎操作 グラフのかき方」を「18 グラフのかき方」とし2年1巻に移動した。	2編集の具体的方針(1) (2)(3)による。 資料1年0-12を参照
2年 1巻	305		変更	巻末の「科学であつかう量の測定と表し方」を「19 科学であつかう量の測定と表し方」とし2年1巻に移動した。	2編集の具体的方針 (1)(2)(3)による。
2年 1巻	306		変更	「巻末資料 理科の学習を深めよう」を2年1巻に移動した。	2編集の具体的方針 (1)(2)(3)による

2年 1巻	307		変更	「巻末資料 学んだことはいつわかったか」を「学ぶことはいつわかったか」に変更し、2年1巻に移動した。	2編集の具体的方針 (1)(2)(3)による
2年 1巻	298・ 299		変更	巻末にある「学びを広げよう 自由研究」を2年1巻に移動した。	2編集の具体的方針 (1)(2)(3)による
2年 1巻	⑤・ ⑥		変更	「未来への科学 Stand by me」は2年1巻に移動した。	2編集の具体的方針 (1)(2)(3)による
2年 1巻	310・ 311		変更	巻末の「確かめと応用の解答」は各巻各単元の末尾に移動した。	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 2巻 単元 1 第1 章	12	写真	削除	写真を削除し、13ページの文中に加筆した。	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 2巻	15	写真	変更	写真を削除し、「大きさを比べよう」とし、文字だけにした。 「テニスコートのネットの高さ=1.07m」を「フロアバレーボールのネットの高さ=1.2m」に変更した。	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 2巻	16	図1 ～ 図4	削除 変更	図1、3、4を削除し、図2を次のように変更した。 「ホットケーキを焼く材料を次の①～④のように調整して焼いた。次のものだけを入れなくて焼く。 ①卵 ②牛乳 ③砂糖 ④ベーキングパウダー 結果は④だけがスポンジ状にならなかった。」	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 2巻	17	実験 1	差し 替え	実験1「炭酸水素ナトリウムを加熱したときの変化」を差し替えた。	2編集の具体的方針 (2)による。 資料2年1-1を参照
2年 2巻	18	基礎 操作	変更	基礎操作「レポートの書き方」を1巻の「レポートの書き方」と資料2年1-2の「レポートの書き方の例」に分けた。	2編集の具体的方針 (1)による。 資料2年1-2を参照
2年 2巻	19	図1 図2	削除	本文中に内容が含まれるので削除した。	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 2巻	19	図3	変更	図を削除し、次のように変更した。 「加熱後の物質は水によくとけ、フェノールフタレイン溶液との反応で赤色になり、強いアルカリ性である。それに対して、炭酸水素ナトリウムは水に	2編集の具体的方針 (1)による。

				少ししか溶けず、フェノールフタレイン溶液との反応ではうすい赤色で弱いアルカリ性である。」	
2年 2巻	19	図4	変更	図を削除し、図の説明文を「参考」とした。	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 2巻	19・2 0	調べ よう	変更	「調べよう」を、調べよう「ミニ実験」と変更した。	2編集の具体的方針 (2)による。 資料2年1-3を参照
2年 2巻	20	図1	削除	「ミニ実験」の文中に内容が含まれるので削除した。	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 2巻	20	2・ 3	変更	「この白い物質は、かためると銀色に光り（金属光沢）、固めたものをたたくと板のように延びて変形する。」に変更した。	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 2巻	21	どこ でも 科学	変更	「カルメ焼きを作ってみよう」の内容を変更した。	2編集の具体的方針 (2)による。 資料2年1-4を参照
2年 2巻	22	図1	変更	図を削除し、文字だけにした。	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 2巻	22	★1	変更	「ミニ知識」とし、「純粋な水に電流は流れませんが、水酸化ナトリウムや硝酸ナトリウムなどをとくと、電流が流れるようになる。」に変更した。	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 2巻	22	基礎 操作	差し 替え	「ホフマン型電気分解装置の使い方」に差し替えた。	2編集の具体的方針 (2)による。 資料2年1-5を参照
2年 2巻	23	実験 2	差し 替え	実験2「水に電流を流したときの変化」を差し替えた。	2編集の具体的方針 (2)による。 資料2年1-6を参照
2年 2巻	24	図1	変更	図を削除し、文字だけにした。	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 2巻	25	基礎 操作	変更	22ページに移動し、基礎操作の中に次を追加した。 この他の電気分解装置 液だめのつかないH形ガラス管電気分解装置や、簡易型電気分解装置もある。	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 2巻	26	図1 図2	削除	本文中に内容が含まれるので削除した。	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 2巻	27	図3	削除	本文中に内容が含まれるので削除した。	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 2巻	27	図4	変更	図を削除し文を次のように、「ミニ知識」とした。	2編集の具体的方針 (1)による。

				ミニ知識 原子の大きさ 銀の原子と野球のボールの大きさの比は、ボールと地球の大きさの比とほぼ同じになる（ボールの直径を6 cm とすると、地球はその2億倍である）	
2年 2巻	28	欄外	変更	右欄外の書き方・読み方を削除し、次のように変更した。 元素記号の書き方と読み方 点字で元素記号を書く場合は、化学式の指示符（5 6の点）と大文字符（6の点）を書き、対応するアルファベットを書く。読み方は、英語のアルファベットの読み通りに読む。 例えば鉄は Fe と書き、「エフ、イー」とよむ。	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 2巻	28	図1	削除	本文中に内容が含まれるので削除した。	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 2巻	31	欄外	変更	欄外を次のように変更した 「原子の個数が2個以上の時は、元素記号に続けて下がり数字で書く。複数の原子が2個以上の時は Ca OH カッコを使う。 例 水酸化カルシウムは $\text{Ca}(\text{OH})_2$ と書く。これは Ca 1個と OH 2個が結びついていることを表している。」	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 2巻	31	ここがポイント	変更	ここがポイント「分子をつくる物質を化学式で表す」を以下のように示した。 +----- + 1 酸素 酸素分子は、酸素原子が2個結びついている。 ①分子のモデルを元素記号で表す。 ②原子の数を数え、その数を元素記号に続けて下がり数字で書く。（原子が1個の場合は、1を省略する。） 酸素の化学式は O_2 2 水素 水素分子は、水素原子が2個結びついている。 ①分子のモデルを元素記号で表す。 ②原子の数を数え、その数を元素記号に続けて下がり数字で書く。 水素の化学式は H_2	2編集の具体的方針 (1)による。

				<p>3 水</p> <p>水分子は、水素原子 2 個と酸素原子が 1 個結びついている。</p> <p>①分子のモデルを元素記号で表す。</p> <p>②Hを先に、Oを後にして、それぞれの原子の数を数え、その数を元素記号に続けて下がり数字で書く。</p> <p>水の化学式は H_2O</p> <hr/> <p>+</p>	
2年 2巻	32	ここがポイント	変更	<p>ここがポイント「分子をつくらない物質を化学式で表す」を以下のように示した。</p> <hr/> <p>+</p> <p>1 マグネシウムの化学式</p> <p>アルミニウム、マグネシウム、炭素などの固体は、1種類の原子がたくさん集まってできている。</p> <p>①1個のマグネシウム原子を代表させる。</p> <p>②元素記号で表す。</p> <p>マグネシウムの化学式は Mg</p> <p>2 塩化ナトリウムの化学式</p> <p>塩化ナトリウムは、ナトリウム原子と塩素原子が 1 : 1 の個数の比でたくさん集まってできている。</p> <p>①1個のナトリウム原子と1個の塩素原子で代表させる。</p> <p>②元素記号で表し、Naを先にClを後にして書く。</p> <p>塩化ナトリウムの化学式は NaCl</p> <hr/> <p>+</p>	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 2巻	33	図2	変更	<p>図2を次の図7と下の文に分けた。</p> <p>図7 物質の分類</p> <pre> graph TD A[物質] --- B[混合物] A --- C[純粋な物質] C --- D[単体] C --- E[化合物] </pre> <p>物質の分類</p> <p>1 混合物</p> <p>食塩水 (NaClとH₂Oが混じり合っているの</p>	2編集の具体的方針 (1)による。

				<p>で、「食塩水」として化学式で表すことはできない。)</p> <p>2 純粋な物質</p> <p>O_2 H_2 Cu Mg CO_2 H_2O $NaCl$ CuO</p> <p>(ア) 単体 1種類の元素からできているもの</p> <p>①分子である O_2 H_2</p> <p>②分子ではない Cu Mg</p> <p>(イ) 化合物 2種類以上の元素からできているもの</p> <p>①分子である CO_2 H_2O</p> <p>②分子ではない $NaCl$ CuO</p>	
2年 3巻 単元 1 第2 章	35	写真	変更	<p>写真を削除し、「Before&After」を次のように変更した。</p> <p>袋の中に水素と酸素を入れ、その混合気体に点火する。袋の中では何が起こるだろうか。言葉やモデルなどを使って表してみよう。</p>	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 3巻	36	図1	変更	<p>図を削除し、「ミニ実験 水素と酸素の混合気体に点火する」とした。</p>	2編集の具体的方針 (2)による。 資料2年1-7を参照
2年 3巻	36	図2	削除	<p>本文中に内容が含まれるので削除した。</p>	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 3巻	37	図3	変更	<p>図を削除し、次のように変更した。</p> <p>+</p> <p>+</p> <p>水素と酸素が結びつくときの化学変化のモデル</p> <p>2種類の小さな磁石（水素原子用24個、酸素原子用12個）を用意する。</p> <p>マグネットボード4枚に、次の①～④のように磁石をはって考える。</p> <p>①水素分子（水素原子が2個ずつくっついたもの）を4個はる。</p> <p>②酸素分子（酸素原子が2個ずつくっついたもの）を2個はる。</p> <p>③①と②をまぜたもの（水素分子4個と酸素分子2個）をはる。</p> <p>④点火した後、水分子（酸素原子1個に水素原子2個がくっついたもの）を4個はる。</p> <p>+</p>	2編集の具体的方針 (2)による。

				—+	
2年 3巻	38・ 39	実験 3	差し 替え	実験3「鉄と硫黄が結びつく変化」を差し替えた。	2編集の具体的方針 (2)による。 資料2年1-8を参照
2年 3巻	40	図1	削除	本文中に内容が含まれるので削除した。	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 3巻	40	図2	変更	図を削除し、本文に「…が起こり、黒い硫化銅ができる。」と次の言葉の式を加えた。 「硫黄+銅→硫化銅」	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 3巻	41	図3 1・ 2	変更	図を削除し、図の説明文と本文1・2行目を次のように変更した。「…結びつき、二酸化炭素ができ、灰が残る。炭素の原子と…。」	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 3巻	42	レッ ツス ター ト!	追加	「問題発見 レッツ スタート！」に以下の文章を追加した。 ……鉄の原子はFe、硫黄の原子はSと表す。	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 3巻	43	実習 1	変更	実習1の、準備する物とステップ1①を次のように 変更した。 +————— + 準備する物 小さい磁石（マグネットシートを小さく切ってもよい）、マグネットボード ステップ1 ①小さい磁石やマグネットシートなどを使って、元素記号を貼って原子のモデルを作る。その際に、元素記号ごとに大きさや形がちがうものを使う。 +————— +	2編集の具体的方針 (2)による。
2年 3巻	44	吹き 出し	変更	生徒の吹き出しを上からリク、ハル、ケンとし、その一部を以下のように変更した。 +————— + リク「矢印の左側はOが2個、矢印の右側はOが1個で、矢印の左右で酸素原子の数が合わないよ。」 ハル「矢印の左側はHが2個、矢印の右側はHが4個。酸素原子の数は合ったけど、水素原子の数が合わないね。」 ケン「矢印の左側はHが4個、矢印の右側もHが	2編集の具体的方針 (1)による。

				4個。これで、矢印の左右で水素原子と酸素原子の数が合ったね。」 +----- +	
2年 3巻	45	冒頭	追加	「化学反応式の表記」（点字での表記法）を追加した。	2編集の具体的方針 (1)による。 資料2年1-9を参照
2年 3巻	45	9下 吹き 出し	変更	吹き出しを次のように変更した。 「2H ₂ Oの「2」 とHのあとの「2」 の意味がよく分かったよ。」	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 3巻	47	10コ マ目	変更	10コマ目を次のように変更した。 「ゲーリュサックは同体積中に同数の原子があると考えた。これで 水素2+酸素1→水蒸気2 を説明すると酸素1が水蒸気になるときに酸素原子が2つに割れることになる。つまり、この法則はドルトンの原子説と矛盾してしまっていた。」	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 3巻	48	Befo re& Afte r	変更	Before&After を次のように変更した。 「袋の中に水素と酸素を入れ、その混合気体に点火する。袋の中では何が起こったのだろうか。」	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 3巻 単元 1 第3 章 2年 3巻	50	図1	変更	図を削除し、次のように変更した。 「天秤の両側に木片をつるしてつり合わせた後に、木片の片方だけに火をつけると、燃えた方が上に傾く。木片の代わりに、スチールウール（鉄）をつるして、片方に火をつけると、燃えた方が下に傾く。」	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 3巻	51	実験 4	差し 替え	実験4「鉄を燃やしたときの変化」を差し替えた。	2編集の具体的方針 (2)による。 資料2年1-10を参照
2年 3巻	52	図1 図2	変更	図を削除し、次のように変更した。 「さらに、燃やした後にできた物質は、鉄と比べて電流が流れにくく、うすい塩酸に入れたときに気体が発生しにくかった。」	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 3巻	53	図3	削除	本文中に内容が含まれるので削除した。	2編集の具体的方針 (1)による。
2年	53	図4	変更	図を削除し、次のように変更した。	2編集の具体的方針

3 卷				「マグネシウムが燃焼してできる白い酸化マグネシウムは、マグネシウムの原子と酸素の原子が 1 : 1 の割合で結びついている。」	(1)による。
2 年 3 卷	54	図 1	削除	本文中に内容が含まれるので削除した。	2 編集の具体的方針 (1)による。
2 年 3 卷	54	図 2	差し 替え	図 2 を「ミニ実験 水素と酸素から水を作る実験」とした。	2 編集の具体的方針 (2)による。 資料 2 年 1 - 11 を参照
2 年 3 卷	55	くらしと 科学	変更	右の図を削除し、15 行目に「1 円硬貨のように」を加えた。 「ミニ知識」として文末に下記を追加した。 「新品の移植ごても、使い込み、表面の塗装がはがれると、内側の金属（鉄）がさび、ぼろぼろになっていく。」	2 編集の具体的方針 (1)による。
2 年 3 卷	55	発展	変更	右の図を削除し、2 行目に「調理器具や建物のフレームに利用され」を加えた。	2 編集の具体的方針 (1)による。
2 年 3 卷	56	問題 発見	変更	3 行目の「図 1 のように」を削除し、4 行目に「鉄鉱石や銅鉱石の」を加えた。	2 編集の具体的方針 (1)による。
2 年 3 卷	56	図 1	変更	図を削除し「問題発見」に「鉄鉱石や銅鉱石の」を加えた。	2 編集の具体的方針 (1)による。
2 年 3 卷	57	実験 5	差し 替え	実験 5 「酸化銅から酸素をとる化学変化」を差し替えた。	2 編集の具体的方針 (2)による。 資料 2 年 1 - 12 を参照
2 年 3 卷	58	図 1 図 2	変更	図を削除し、本文 10・11 行目を下記に変更した。 「石灰水が白くにごったことから二酸化炭素が発生した。また、加熱した試験管内に残った物質は茶色で、固めると金属光沢を示すことから銅であることが分かる。」	2 編集の具体的方針 (1)による。
2 年 3 卷	59	図 3	変更	図を削除し、「参考 1」として次のように変更した。 「参考 1 水素を使って酸化銅の還元を調べる方法 水素の入った試験管に、熱した銅線を出し入れさせ、感光器で変化を確認する方法がある。ただし、部屋の換気をきちんと行い、水素ボンベや水素の入った試験管は、火のそばに置かないようにする。」	2 編集の具体的方針 (1)による。

2年 3巻	59	図4	変更	<p>図を削除し、次の「ミニ実験」とし、図の右の説明文を「参考2」とした。</p> <p>+-----</p> <p>+ ミニ実験 エタノールによる酸化銅の還元 実験の方法</p> <p>1. コイル状に巻いた銅線2本と、エタノール2mL と同量の水を入れたスナッフ管1本を準備する。</p> <p>2. 1本の銅線をガスバーナーで熱し、そのまま放置して冷ます。</p> <p>3. もう1本の銅線は熱して①のスナッフ管に入れ、エタノールに触れさせた後冷ます。</p> <p>4. 2. と3. の銅線を並べて、感光器で違いを比べる。</p> <p>+-----</p> <p>—+</p>	2編集の具体的方針 (2)による。
2年 3巻	60	どこでも 科学	変更	「マグネシウムを二酸化炭素の中で燃やそう」の内容を変更した。	2編集の具体的方針 (2)による。 資料2年1-13を参照
2年 3巻	62	学んだこと をつなげよう	変更	<p>「学んだことをつなげよう」の文章の一部を以下のとおり変更した。</p> <p>……この化学変化を例にして、酸化と還元を説明しよう。</p>	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 4巻 単元 1 第4 章	64	図1	差し 替え	図1を「ミニ実験」「閉じ込められた集気ビンの中でスチールウールを燃焼させる」とした。	2編集の具体的方針 (2)による。 資料2年1-14を参照
2年 4巻	64・65	実験 6	差し 替え	実験6「化学変化の前と後の質量の変化」を差し替えた。	2編集の具体的方針 (2)による。 資料2年1-15を参照
2年 4巻	66	図1	削除	64ページ「ミニ実験」と同じ内容なので削除した。	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 4巻	68	問題 発見 図1	変更	<p>図1を削除し、「レッツ スタート」を下記に変更した。</p> <p>同じ質量の鉄とマグネシウムを酸化させたのに、それぞれの酸化物の質量がちがった。これはなぜか</p>	2編集の具体的方針 (1)による。

				考えてみよう。	
2年 4巻	68・69	実験 7	差し 替え	実験7「金属を熱したときの質量の変化」を差し替えた。	2編集の具体的方針 (2)による。 資料2年1-16を参照
2年 4巻 単元 1 第5 章	74	図1 図2	削除	本文中に内容が含まれるので削除した。	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 4巻	75	実験 8	差し 替え	実験8「化学変化による温度変化」を差し替えた。	2編集の具体的方針 (2)による。 資料2年1-17を参照
2年 4巻	76	表1	削除	実験方法を変更したので、この表はそぐわないため削除した。	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 4巻	76	図1 図2	変更	図を削除し、文のみにした。	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 4巻	77	図3	削除	本文中に内容が含まれるので削除した。	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 4巻	78	図2	変更	図を削除し、6行目に次の語句を加筆した。 「銅のさびを緑青といい」	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 4巻	78・79	図1 図3 図4 図5	削除	本文中に内容が含まれるので削除した。	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 5巻 単元 2 第1 章	92・93	観察 1	差し 替え	観察1を資料2年2-1のように差し替えた。	2編集の具体的方針 (1)による。 資料2年2-1を参照
2年 5巻	94・95	図1 図2	追加 変更	水中の小さな生き物の形等に関する説明を「資料」として以下のように追加した。また、図1～図9に変更した。 + + 「資料」 池の水や水槽等の淡水中には肉眼で見ることができないような小さな生物が生活している。これらの水を1滴とって顕微鏡をつかって20倍～600倍に拡	2編集の具体的方針 (2)による。

				<p>大して観察してみると、丸みのあるからをもち、活発に動きまわるミジンコ（図1）や決まった形をもたないアメーバ（図2）、丸くて勳章のような形をしたクンショウモ（図3）瞬間的に伸び縮みできる柄の先に鐘をつけたような形をしたツリガネムシ（図4）、細長い筒の中にリボンをらせん状に入れたようなアオミドロ（図5）、先を丸くした箸箱のような形のハネケイソウ（図6）などさまざまな生物が観察できる。また、海水中でも風船のような丸い形をしたヤコウチュウ（図7）や親指の先のような体から3本～5本の角が生えたようなツノモ（図8）、円筒状のロケットのような体から長いひげが生えたヒゲナガケンミジンコ（図9）などの生き物が観察できる。</p> <p style="text-align: center;">+————— —+</p>	
2年 5巻	97	観察 2	差し 替え	観察2を資料2年2-2のように差し替えた。	2編集の具体的方針 (2)による。 資料2年2-2を参照
2年 5巻	98・99	図1 図3 図4 図5	削除 変更	図1、図3、図4、図5を削除し、図10 オオカナダモの葉（染色前）、図11 オオカナダモの葉（染色後）、図12 植物細胞の模式図、図13 葉の裏側の表面にある気孔に変更した。	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 5巻	99	図2	削除 変更	図2を削除し、図14 葉の断面に変更した。	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 5巻	101	観察 3	差し 替え	観察3を資料2年2-3のように差し替えた。	2編集の具体的方針 (2)による。 資料2年2-3を参照
2年 5巻	102	図1 図2 図3	削除 変更	図1、図2、図3を削除し、図15 ヒトのほおの内側の細胞、図16 動物細胞の模式図に変更した。	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 5巻	104・ 105	図1 図2	削除 変更	図1、図2を削除し、図17 ゾウリムシ、図18 ミカヅキモに変更した。	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 5巻	105		追加	<p>組織、器官、個体についての図の説明を以下の文章で追加した。</p> <p>例えば、小腸の内壁（図19）では、養分を吸収する上皮細胞と腸を動かす筋細胞がそれぞれ上皮組織と筋組織をつくり、それらがまとまって小腸という器官になっている。動物のからだ（個体）は小腸だけでなく他の器官とともにつくられている。</p>	2編集の具体的方針 (2)による。

2年 5巻	107	図3	追加 変更	<p>図3を図20とし、以下のミニ知識を追加した。</p> <p>ミニ知識 いろいろな生物や細胞の大きさ と形</p> <p>図20はいろいろな生物や細胞の大きさ形を示している。クリオネの体長は約0.5～2cm、ミジンコの体長は1～2mmなので、かろうじてヒトの目で見える大きさであるが、これより小さいものは顕微鏡を用いて拡大して見なければならない。ゾウリムシの体長は約0.2mm、ヒトの卵の直径は約0.14mm、ヒトの赤血球の直径は約0.008mmである。</p> <p style="text-align: center;">+----- -+</p>	2編集の具体的方針(2)による。
2年 5巻 単元 2 第2 章	111	実験 1	差し 替え	<p>実験1を以下のように「参考」として差し替えた。</p> <p>参考 葉の細胞の中の光合成が行われている場所を調べる実験</p> <p>オオカナダモなどの水草を入れた水槽を2つ準備し、水槽Aは明るい所に、水槽Bは暗い所に置く。それぞれの水草をあたためたエタノールに入れて脱色し、水洗いしてからヨウ素液をたらす。しばらくしてから顕微鏡で観察すると光合成が行われている葉の細胞の中で、デンプンがある場所がどこか分かる。</p>	2編集の具体的方針(2)による。
2年 5巻	113		変更	本文、光合成で発生する気体を第2節光合成に必要なものへ移動した。	2編集の具体的方針(1)による。
2年 5巻	114		追加	実験2の前に資料2年2-4光合成で発生する気体を調べる実験を追加した。	2編集の具体的方針(2)による。 資料2年2-4を参照
2年 5巻	117		変更	ここがポイントの図を図3光合成のしくみに変更した。	2編集の具体的方針(1)による。
2年 5巻	118	図1	削除 変更	図1植物が呼吸を行うかを確認する実験を削除し、図4植物の呼吸を調べる実験装置とし、実験方法を、感光器を使うものに変更した。	2編集の具体的方針(2)による。
2年 5巻	119		削除 変更	説明しようの図を削除し、図5光合成と呼吸による気体の出入りに変更した。	2編集の具体的方針(1)による。
2年 5巻	121		変更	実験3のシリコンチューブの使い方を図6で示した。	2編集の具体的方針(2)による。
2年 5巻	125	観察 4	差し 替え	観察4を資料2年2-5のように差し替えた。	2編集の具体的方針(2)による。 資料2年2-5を参照
2年	126	図1	削除	図1～図5を削除し、図7トウモロコシの茎の断	2編集の具体的方針

5 卷		図 2 図 3 図 4 図 5	変更	面、図 8 ヒマワリの茎の断面、図 9 ヒマワリの根毛、図 10 トウモロコシの維管束、図 11 ヒマワリの茎の維管束、図 12 葉でつくられた養分の移動、図 13 葉の道管・師管、図 14 茎の道管・師管、図 15 根の道管・師管に変更した。	(1)による。
2 年 5 卷	127	図 6	変更	図 6 を図 16 茎の表面の一部を切り取ったカキの木に変更した。	2 編集の具体的方針 (1)による。
2 年 6 卷 単元 2 第 3 章	131	図 3	差し 替え	図 3 の写真を削除し、ヨウ素液とベネジクト液の性質を参考として次のように文章で記載した。 参考 ヨウ素液とベネジクト液の性質 1. ヨウ素液の性質 (デンプンの有無を調べる) デンプンをふくむ溶液に黄色のヨウ素液を入れると、溶液の色が青紫色になる。 麦芽糖だけを入れた溶液にヨウ素液を入れてもヨウ素液は黄色のまま青紫色にならない。 2. ベネジクト液の性質 (麦芽糖の有無を調べる) 麦芽糖をふくむ溶液にベネジクト液を入れて加熱すると、赤褐色の沈殿ができる。 デンプンだけを入れた溶液にベネジクト液を入れて加熱してもベネジクト液は水色のままである。	2 編集の具体的方針 (2)による。
2 年 6 卷	132	図 1 図 2 図 3 図 4	削除 変更	図 2 は削除し、図 1、図 3、図 4 は以下に示す文章に変更し、本文中に挿入した。 図 1 だ液を加えると… (デンプン) → (麦芽糖など) 図 3 だ液を含む水を加えると… (デンプンを含み、麦芽糖を含まない液) → (デンプンを含まず、麦芽糖を含む液) 図 4 だ液を含まない水を加えると… (デンプンを含み、麦芽糖を含まない液) → (デンプンを含み、麦芽糖を含まない液)	2 編集の具体的方針 (1)による。
2 年 6 卷	132	生徒 の 会話	追加	「だ液を含む水を入れるときと、だ液を含まない水をいれるとき (対照実験) とで、それぞれヨウ素液の反応とベネジクト液の反応を見ることになる。だから 4 本の試験管が必要だね。」	2 編集の具体的方針 (1)による。
2 年 6 卷	132～ 134	実験 4	変更	点字使用生徒が実験しやすいように変更した。	2 編集の具体的方針 (1) (2)による。 資料 2 年 2 - 6 を参照
2 年	134	図 1	変更	図 1 実験 4 の反応の模式図を「実験 4 の反応の	2 編集の具体的方針

6 卷				様子」として単純な点図に変更した。	(1)による。
2年 6 卷	135	表 1	削除 変更	表 1 は削除し、次のように文章にして本文中に挿入した。 食物に含まれる成分…各成分を含む主な食物と主なはたらき 1. 有機物 (1) 炭水化物…米・芋などに含まれ、エネルギーのもとになる。 (2) タンパク質…肉・豆腐などに含まれ、体をつくる。 (3) 脂肪…油・バターなどに含まれ、エネルギーのもとになる。 2. 無機物 牛乳に含まれるカルシウムやレバーに含まれる鉄などで、骨や血液などの成分となる。また、体の調子を整える。	2 編集の具体的方針 (1)による。
2年 6 卷	135	図 3	変更	写真は削除し、説明文は以下のように変更した。 中学 技術・家庭で学ぶこと 1. 栄養素の種類とはたらき 2. 食器用洗剤の成分表には、酵素が含まれていることが表示されている。	2 編集の具体的方針 (1)による。
2年 6 卷	138	図 1	差し 替え	図 1 の円グラフを次の文章に差し替えた。 吸気（吸う息）と呼気（吐く息）の成分 1. 吸気（吸う息） (1)窒素 78.09% (2)酸素 20.94% (3)その他 0.94% (4)二酸化炭素 0.03% 2. 呼気（吐く息） (1)窒素 78.19% (2)酸素 16.2% (3)二酸化炭素 4.6% (4)その他 0.94%	2 編集の具体的方針 (1)による。
2年 6 卷	139	図 4	差し 替え	図 4 のヒトの肺モデルの写真を削除し、やってみよう「ミニ実験」として差し替えた。	2 編集の具体的方針 (1)による。 資料 2年 2－7 を参照
2年 6 卷		図 5	変更	図 5 を削除し、注釈の説明文は本文中に挿入した。	2 編集の具体的方針 (1)による。
2年 6 卷	142	表 1	差し 替え	次のように文章化した。 ヒトの血液の主な成分の形とはたらき 1. 赤血球 かたち 中央がくぼんだ円ばん形。	2 編集の具体的方針 (1)による。

				<p>はたらき 酸素を運ぶ。</p> <p>2. 白血球 かたち 球形のものが多い。状況により変形するものがある。 はたらき 細菌などの異物を分解する。</p> <p>3. 血小板 かたち 赤血球や白血球よりも小さく不規則な形。 はたらき 出血した血液を固める。</p> <p>4 血しょう かたち 溶液 はたらき 養分や不要な物質などを運ぶ。</p>	
2年 6巻	143	活用	変更	<p>写真を削除し、次の説明文を追加した。</p> <p>メダカをチャック付きのポリエチレン袋に少量の水とともに入れ、メダカを動かないようにして顕微鏡で尾びれを観察すると、…（以下本文に続く）</p>	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 6巻	144	発展	変更	<p>じん臓のはたらきを次のように変更した。</p> <p>1. 血管から血しょうがこし出される。 2. 血しょうがこし出される部分は、毛細血管が密集している。 3. こし出された血しょうの中から養分などの必要な物質が血液中にもどり、血液中の塩分や水分量を一定に保つ。</p>	2編集の具体的方針 (2)による。
2年 6巻	146	1	変更	「動物のからだを模式図でみてみよう」を「動物のからだについてまとめてみよう」に変更した。	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 6巻	146	図	削除	削除し、設問のしかたを変更した。	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 6巻	146	活用 3	変更	<p>「下の図を見て」の部分を以下のように変更した。</p> <p>ア. 肺 イ. 心臓 ウ. 肝臓 エ. じん臓 オ. 消化管 カ. 血管</p>	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 6巻	146	活用 4	変更	<p>次のa～cのそれぞれの血液を比較したとき、成分についてどのような違いがあるのだろうか。</p> <p>a. 心臓から肺へ向かう血液と、心臓から全身に向かう血液。 b. 小腸の内壁のすぐ外側を通り全身の細胞へ向かう血液と、全身の細胞から肝臓やじん臓へ向かう血液。 c. 全身から心臓にもどる血液と肺から心臓にもど</p>	2編集の具体的方針 (1)による。

				る血液。	
2年 6巻	148	学んだことをつなげよう	削除 差し替え	ウシとライオンの胃と腸の写真は削除した。 肉を食べる体長約2mのライオンでは、腸の長さは約7mなのに対して、植物を食べる体長約2mのウシでは、腸の長さは約40mもある。胃もライオンより大きい。このように動物の種類によって、消化管のようすにちがいが見られる。その理由を考えよう。自分の考えをノートに書こう。	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 6巻 単元 2 第4 章	150	2	変更	「下の写真で」を削除し、「ライオンがえものを追いかけてとらえるとき」と変更した。	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 6巻	151	つながる科学	変更	「動物はこんな刺激を受けとっている！」(前略)…感知する(見る)ことができます。同じタンポポの花をヒトの目に見える可視光で撮影した白黒の写真では、背景の草とともに白っぽく見えます。これに対して紫外線で撮影する写真では、花のふちだけが白っぽく写ります。昆虫の目には、紫外線で撮影した写真と同じような花の像が見えるので、花と見分けることができます。	2編集の具体的方針 (2)による。
2年 6巻	153	活用	変更	イラストを削除し、「ハンバーグを焼いたりシチューを煮る調理場面では」と文章を挿入した。	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 6巻	154	図1 図2	変更	図は削除し、注釈は本文中に挿入した。	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 6巻	154	科学のミカタ	削除 追加	イラストは削除し、「例えば、ネコを見かけて触りたいと思えば手でなでる場合のように」という文を追加した。	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 6巻	155	つながる科学	変更	「目の錯覚のふしぎ」(前略)…これを錯視といいます。例えば、色が黒色の正方形の紙に白で等間隔に横3本、縦3本の幅のある線を引きます。しばらくじっとこれを眺めていると縦線と横線が交差した十字に灰色の影が見えるようになります。実際に…(後略)	2編集の具体的方針 (1)(2)による。
2年 6巻	156	図1	変更	図を削除し、注釈を以下の文章に変更し本文中に挿入した。 感覚器官からの信号は、感覚神経を通過して背骨の背中側にある脊髄から脳へと伝わる。中枢神経である脳や脊髄からの命令信号は、運動神経を通過して運	2編集の具体的方針 (1)による。

				動器官へと伝わり、反応を引き起こす。	
2年 6巻	157	16	追加	「活用 学びをいかして考えよう」 2. 熱い物に触って思わず手を引っ込めた後、「熱かった」と感じ自分の手に息を吹きかけた。この場合では、信号はどのような経路を伝わるか考えてみよう。 3. 反射には、…（後略）	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 6巻	157	9	追加	膝蓋腱反射を確かめるには、足が床につかないように高いすに浅めに座り、足の力を抜く。膝の皿の下の部分を他の人に木づちで軽くたたいてもらおうと足が勝手にはね上がる。これはのびた状態の筋肉につながる腱に力が加わったときに、筋肉がそれ以上のびてしまわないようにするために筋肉を縮める反射である。	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 6巻	157	図4	削除 追加	イラストは削除し、注釈は「活用 学びをいかして考えよう」に追加した。	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 6巻	161	観察	差し 替え	「軟体動物の解剖と観察」を視覚障害の生徒が観察しやすい方法に変更して差し替えた。	2編集の具体的方針 (1)による。 資料2年2-8を参照
2年 6巻	161	活用	変更	1年のときに観察した魚のからだとイカのからだと比較して、共通点や相違点を見つけよう。	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 6巻	164	光合成	変更	植物が光を受け、二酸化炭素と水を使ってデンプンなどの養分をつくるはたらき。酸素もつくられ、気孔から外へ出される。	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 6巻	164	消化	追加	（本文に続けて）デンプンはブドウ糖に、タンパク質はアミノ酸に、脂肪は脂肪酸とモノグリセリドに分解される。	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 6巻	164	吸収	追加	（本文に続けて）ブドウ糖とアミノ酸は毛細血管に吸収され、脂肪酸とモノグリセリドはリンパ管に吸収される。	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 6巻	165	アミラーゼ	追加	「だ液にふくまれ」を文頭に追加した。	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 6巻	165	ペプシン	追加	「胃液にふくまれ」を文頭に追加した。	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 6巻	165	静脈血	変更	酸素がなく二酸化炭素を多く含む血液。	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 6巻	165	尿	変更	じん臓で血液中からとり除かれる尿素など不要な物質をふくみ、ぼうこうで貯められて体外へ排出される。	2編集の具体的方針 (1)による。
2年	164・	図	差し	学習内容の整理にある図を削除し、「2まとめ」	2編集の具体的方針

6 巻	165		替え	<p>として以下の項目で文章化して差し替えた。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 細胞のつくり 2. 植物のつくりとはたらき 3. 光合成のしくみ 4. 消化の流れ 5. 血液の循環 6. 神経を伝わる信号の経路 	(1)による。 資料 2 年 2 - 9 を参照
2 年 6 巻	166	大問 1	削除 変更	<p>顕微鏡の写真を削除した。</p> <p>鏡筒上下式顕微鏡には、次の A ~ C の部分がある。これらの部分や実際の操作について次の 1. 2. の問いに答えなさい。</p> <p>A 顕微鏡のわきについているねじで、ここを回すと、鏡筒が上下する。</p> <p>B 何種類かの対物レンズがとりつけてある。ここを回すと対物レンズの倍率が変わえられる。</p> <p>C プレパラートをのせる台</p>	2 編集の具体的方針(1)による。
2 年 6 巻	166・ 167	大問 5	削除 変更	<p>図 1 ~ 図 3 を削除し、観察の説明を以下のように変更した。</p> <p>赤インクで着色した水にヒマワリの茎をつけ、約 2 ~ 3 時間置いた後、茎の断面を顕微鏡で観察した。赤く染まった部分(A)が輪のようにならなっていた。Aの外側に(B)の部分がある。Bの部分は赤く染まっていなかった。</p>	2 編集の具体的方針(1)による。
2 年 6 巻	167	大問 8	削除 変更	<p>腕の図を削除し、小問 3 の設問を以下のように変更した。</p> <p>2 で手を引っこめる命令の信号が伝わった筋肉は、腕の上側(肩側)、下側(胴側)のどちらか。</p> <p>解答 腕の上側(肩側)</p>	2 編集の具体的方針(1)による。
2 年 6 巻	168	大問 3	変更	<p>結果の表を次のように文章化した。</p> <p>結果 5 分後の試験管の中の様子は、次のようになった。 試験管 A (人工胃液) は削り節がとけ、液が濁った。 試験管 B (だ液) は変化なし。 試験管 C (蒸留水) は変化なし。</p>	2 編集の具体的方針(1)による。
2 年 7 巻	172	つながる	追加	<p>170 ページの情報を 172 ページに追加した。204 ページの雪の結晶も図 1 として追加した。</p>	2 編集の具体的方針(1)による。

単元 3 第1 章		科学			
2年 7巻	174・ 175		削除 変更	いろいろな雲と天気の写真の雲を削除し、1. 上層雲、2. 中層雲、3. 下層雲、4. その他の雲ごとに掲載した。	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 7巻	176	問題 発見	変更	晴れの日と雨の日の写真を削除し、次のように変更した。 晴れの日には積雲が見られ、雨の日には積乱雲がみられるなど、天気によって雲の様子は異なった。そのほかにどのようなちがいがああるか、考えてみよう。	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 7巻	177	観察 1	変更	観察1で準備するものを次のように変更した。 温度計を音声付温度計、磁針を視覚障害者用方位磁石。	2編集の具体的方針 (2)による。
2年 7巻	178	基礎 操作	変更	天気図の記号は、天気図の基本的な形として表し、次のような説明に変更した。 その地点の天気・風向・風力は、天気図の記号で表すことができる。基本的な形は、図5のように丸と直線をつけた形になっている。丸の中で天気を表し、風向は直線の端(ア.)から丸の中心への向きで表す。	2編集の具体的方針 (2)による。
2年 7巻	179	資料	削除	湿度表は、乾球の示度は偶数のみ、0.5℃ごとではなく1℃ごとにし、その他データは削除した。	2編集の具体的方針 (2)による。
2年 7巻	180	表1	変更	観察1の学校内での観察結果の例で、例を減らしてポイントをしぼり、データを変更した。表1の各班の記録の観測場所をA～Fのみとし、J地点の位置をF地点とした。	2編集の具体的方針 (2)による。
2年 7巻	182	問題 発見 7	変更	「つぶれて」という表現を「へこんで」という表現に変更した。	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 7巻	182	調べ よう	変更	「調べよう」の内容を変更した。	2編集の具体的方針 (2)による。 資料2年3-1を参照
2年 7巻	183	図4 図5	削除 変更	図4、図5をミニ実験としてまとめた。また、図5の絵を削除し、次のように文章化した。 2 あらゆる方向にはたらく大気圧	2編集の具体的方針 (2)による。


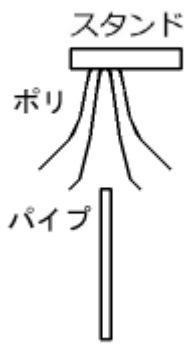
				取手のついたゴムシートを机の面やかべに押し付けると、手で取手を強く引っ張ってもなかなかとれなくなる。これはゴムシートが大気圧によって机の面やかべに押し付けられているからである。大気圧はあらゆる方向にはたらくため、ゴムシートはどの向きにもはりつけることができる。	
2年 7巻	183	調べ よう	変更	「調べよう」で準備するものを段ボールからベニヤ板に変更した。	2編集の具体的方針 (2)による。
2年 7巻	186	活用	変更	天気図を変更し、低気圧の周りがあるA～D地点の風向や風速がどのようになっているかを読み取る課題に変更した。	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 7巻	190	図2	削除 追加	図2の写真を削除し、水と水蒸気の記事を「ミニ知識」とし、次の記事を最初に追加した。 お湯を沸かしたやかんから出る湯気は、…（後略）…。	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 7巻	191	実験 1	変更 追加	実験1で準備する物を次のように修正・追加した。温度計を音声付温度計に、また紙ナプキンを追加した。 「ステップ3 水滴がつき始める温度をはかる」で、水滴がつき始めたかどうかを調べる際に、紙ナプキンを金属製コップ表面に当ててみる方法を追加した。 考察のポイントは、193ページの考察しようの文章を挿入し、生徒の言葉も挿入した。	2編集の具体的方針 (2)による。
2年 7巻	192	8	変更	図1を削除し、次の文を「露点よりも下がったためである。」の後に挿入した。 「窓ガラスなどに水滴がつくことを結露という。」	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 7巻	192	10	変更	図1を削除し、次の文を最後に挿入した。 「霜は、冬の冷え込んだ日には草などにつくことがある。」	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 7巻	193	分析 解釈	変更	考察しようと生徒の言葉は、191ページの実験1に挿入済みである。	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 7巻	194	図1	削除 変更	図1の「気温が変化したときの湿度の変化」は、グラフを削除し、以下のように文章表記した。 1. 気温が下がるときの温度の変化 25℃で1m ³ 中に12.8gの水蒸気を含む空気の気温が下がるときについて考えると、…（後略）。 2. 気温が上がるときの温度の変化	2編集の具体的方針 (1)による。

				反対に5℃から25℃まで気温が上がるときについて考えると、…(後略)。	
2年 7巻	195	章末	変更	学んだことをチェックしようの①の1.の「天気図記号を書く課題」を、天気図記号から情報を読み取る課題に変更した。	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 8巻 単元 3 第2 章	199	実験 2	変更	実験2を簡易真空容器ではなく、炭酸飲料用のペットボトルと炭酸飲料保管用の栓を使った実験に変更した。炭酸飲料保管用の栓は、フタを一気に開けられるタイプのもを使用すると瞬間的に変化があるため、感光器の変化を受け取りやすい。また、簡易真空容器を用いた実験は、「資料」として文章化した。	2編集の具体的方針 (2)による。 資料2年3-2を参照
2年 8巻	200	1	変更	「実験から」の冒頭の文章を次のように変更した。 ペットボトルの栓をはずすと、気圧が下がり空気が膨張するとともに温度が下がる。	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 8巻	200		追加	上昇気流の実験として、「ミニ実験」を追加した。	2編集の具体的方針 (2)による。 資料2年3-3を参照
2年 8巻	200	図3	削除	図3の雲のでき方の例を削除した。	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 8巻	201	図4	変更	図4の「いろいろな氷の粒」はP172に挿入済みである。	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 8巻	201	図5	変更	図5の「水の循環のようす」を「ミニ知識」として次のように文章化した。 ミニ知識 水の存在する割合 地球表面付近の水の約97.4%は海水として存在する。陸地に存在する水は全体の約2.6%にすぎない(内訳は、氷河2.0%、地下水0.6%、その他0.02%)。残りの0.001%は、大気中に存在している。	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 8巻	202	図1	削除 変更	図1の「あたたかい空気と冷たい空気の動き方」の写真を削除し、「ミニ実験」として変更した。	2編集の具体的方針 (2)による。 資料2年3-4を参照
2年 8巻	202	図2	削除	図2の「前線付近の雲のようすと天気図」は削除した。	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 8巻	204		削除	注釈★2、★3の文章を削除した。	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 8巻	206	活用	変更	「学びをいかして考えよう」は、Aのみ掲載し、BとCについては参考として表記した。	2編集の具体的方針 (1)による。
2年	207	どこ	削除	「温帯低気圧3Dペーパークラフトをつくろう」	2編集の具体的方針

8巻		でも 科学		は、削除した。	(1)による。
2年 9巻 単元 3 第3 章	210	問題 発見	変更	日本列島付近の雲の動きに焦点をあて、文章を次のように変更した。 図1～図4の雲の動きから、日本列島付近の大気の流れを読み取ってみよう。	2編集の具体的方針 (2)による。
2年 9巻	210	図1	変更	図1を北半球ではなく、日本列島付近での雲の動き（図1～図4）として変更した。	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 9巻	211	図2	変更	図2の「地球規模での大気動き」を図のみにし、ミニ知識として、次のように文章化した。 ミニ知識 地球規模での大気動き 図5のように、中緯度帯の上空では、西から東へ向かって地球を1周する偏西風が吹いている。赤道や極地域の地表付近では、偏西風とは反対向きの風が吹いている。また、赤道付近ではつねに上昇気流が発生している。このように地球の大気は、太陽などの影響を受けて、地球規模で常に循環して活発に動いている。	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 9巻	211	図3	削除 変更	図3の「地球の大気の厚さ」を削除し、5行目の文章の後ろに、地球の大気の厚さについての説明を入れた。	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 9巻	214	図1	削除 追加	図1の日本の季節の写真を削除し、6行目に次の文章を挿入した。 …（前略）…あるが、春にはサクラが咲き、秋には葉が紅葉し、冬には雪が降るなど、四季…（後略）…。	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 9巻	215	図4 図5	削除 変更	雲のようすを削除し、天気図は点図にした。	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 9巻	216	図1 図2	削除 変更	雲のようすを削除し、天気図は点図にした。	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 9巻	217	図3	削除	宇宙から見た台風の写真を削除した。	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 9巻		図4	削除 変更	日本列島や前線などは削除し、台風の雲のようすのみ点図にした。	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 9巻	217		変更	★1の文章を、4行目に次のように挿入した。 …（前略）…ものである。熱帯低気圧とは、低緯度の熱帯地方で発生する低気圧のことをいう。北太平	2編集の具体的方針 (1)による。

				洋の… (省略) …風速が 15m/s 以上の範囲で表す。 雲画像は図 16 のようにうずを巻いた形となり、直径が 1000km こえるものもある。	
2年 9巻	217	活用	変更	天気図上の 1 地点を選んでとなっているが、天気図記号のある地点を 1 つにしぼって、その地点のことについて考えるように変更した。	2 編集の具体的方針 (2)による。
2年 9巻	218	図 1	削除	「さまざまな気象観測のデータ」は削除した。	2 編集の具体的方針 (1)による。
2年 9巻	219	実習 1	変更	数日間の気象衛星画像を雲画像の図に変更した。 ステップ 1 気象情報を読みとる ①の文章を次のように変更した。 ① インターネットや新聞で先生と一緒に過去数日間の気象観測のデータや天気図を集めて、数日分の天気図を立体図形複写してもらい、天気、気温… (後略) …。	2 編集の具体的方針 (1)による。
2年 9巻	220	1	変更	私のレポートは、レポートの例として、次のように変更した。 レポートの例 +-----+ 私のレポートの例 これからの… 実際の… 考察… +-----+	2 編集の具体的方針 (1)による。
2年 9巻	220	図 1 17~	削除 変更	図 1 は削除し、17 行目以降の文章を次のように変更した。 例えば、ある日の観測データを元に、24 時間後の天気図を「数値予報」で予測し、実際の 24 時間後の天気図と比べると、ほぼ予測通りの気圧配置であった。このようにデータをもとにコンピュータを使って天気の変化を予測し、私たちの生活に活かされている。	2 編集の具体的方針 (1)による。
2年 9巻	222	図 1 図 2	削除 変更	図 1、図 2 の写真は削除し、図 1 を次のように文章化し、8 行目に追加した。 さらに、例えば長野県白馬村の棚田と白馬連峰のような季節により… (後略) …。	2 編集の具体的方針 (1)による。
2年 9巻	222		変更	★ 1 は、補足として 11 行目の後に追加した。	2 編集の具体的方針 (1)による。

2年 9巻	223	図3	削除 変更	図3は削除し、文章化したものを10行目に追加した。	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 9巻	223		変更	★1は、ミニ知識として、14行目の後に追加した。	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 9巻	225	つながる 科学	削除 変更	写真を削除し、次のように文章化したものを最後に追加した。 傾斜が急な場所をコンクリートで固めたり、砂防ダムを作ったりすることで土砂くずれや地すべりを防ぐことができます。	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 9巻	230	確かめと 応用	削除 変更	1 気象観測 図2を削除し、②の問題を図の読み取りではなく、次のように文章化した。 ② ある場所…(省略)…調べると、乾球が28℃、湿球が25℃であった。この場所の…(後略)… 2 圧力 正方形に切りとった段ボールではなく、ベニヤ板に変更した。表1は削除し、①のなかに条件A、Bとして文章を挿入した。 5 雲のでき方 実験①、実験②をペットボトルを使った実験に変更し、問題を次のように変更した。 図5のような実験装置で、雲のでき方を調べる実験を行った。この実験についてあとの1. 2. に答えなさい。 1. ペットボトル内の空気を抜いていくと次のア. イ. はそれぞれどのように変化するか。 ア. 気圧 イ. 温度 2. ペットボトル内の空気をぬいていくと、ペットボトルの中に霧のようなものが発生した。その理由を次の語句を…(後略)…	2編集の具体的方針 (2)による。
2年 9巻	232	確かめと 応用 活用 編	削除 変更	3 降水量と土砂災害 図1のペットボトル雨量計の作り方を文章化した。 4 雲のようすと天気 図1を削除し、冒頭に次の文章を挿入した。 富士山などの山のでっぺんに凸レンズのような形をした雲ができることがある。このように山頂部にかさのようにかかる雲を「笠雲」という。…(後	2編集の具体的方針 (1)による。 資料2年3-5を参照

				略)。	
2年 10巻 単元 4 第1 章	239		変更	実験1を変更した。	2編集の具体的方針 (2)による。 資料2年4-1を参照
2年 10巻	240		変更	図4のいなずまの図を変更した。	2編集の具体的方針 (2)による。 資料2年4-2を参照
2年 10巻	241	どこ でも 科学	差し 替え	<p>どこでも科学の「ポリエチレンのひもを動かそう」のポリエチレンの紐の図を削除し、説明文と簡略化した点字教科書図8に差し替えた。</p> <p>1 図8の1.のように、10cm程度の切りとったポリエチレンのひもを細かくさいて、一端をスタンドに吊るす。</p> <p>2 50cmくらいのポリ塩化ビニルのパイプとポリエチレンのひもをティッシュペーパーでこする。</p> <p>3 ポリエチレンのひもに、パイプを近づける。</p> <p>図8 ポリエチレンのひもを動かそう</p> <p>(図の説明)</p> <p>ポリ=ポリエチレンのひも パイプ=ポリ塩化ビニルのパイプ</p> <p>1. ポリをスタンドにつるす</p>  <p>2. ポリにパイプを近づける</p> 	2編集の具体的方針 (1)②による。

2年 10巻	241	つな がる 科学	差し 替え	くらしと科学の「こんなところにも静電気が！」の コピー機の図を削除し説明文と簡略化した点字教科 書図9に差し替えた。	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 10巻	242	図2	変更	図2蛍光灯が光るしくみを削除し、簡略化した点 字教科書図10に修正して、図2の説明文をミニ知識 とした。	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 10巻	245	つな がる 科学	変更	科学の歴史 電流の向きは、どう決めた？の漫画 を削除し、説明文に修正した。	2編集の具体的方針 (1)による。 資料2年4-3を参照
2年 10巻	246		変更	図2放射線の透過性を修正した。	2編集の具体的方針 (4)による。 資料2年4-4を参照
2年 11巻 単元 4 第2 章	250	図1	削除	図1は削除し、レッツスタートの内容と併合して 実験1とした。	2編集の具体的方針 (1)による。 資料2年4-5を参照
2年 11巻	251	図4	差し 替え	発光ダイオードの内容を251ページの図4の説明 と合わせて、ミニ知識とした。 豆電球のかわりに発光ダイオードは豆電球とちが い一定の向きにしか電流を流さない性質がある。発 光させるには、長いリードに+極、短いリードに一 極をつなぐ。	2編集の具体的方針 (2)による。
2年 11巻	253	図3	変更	テーブルタップの内部の写真図3を削除し説明文 に変更してミニ知識とした。 コンセントから離れた場所の複数の電気器具に電 源を供給するための電気器具。	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 11巻	258		変更	電圧計の使い方を点字教科書2-1巻に移動し た。	2編集の具体的方針 (1)による。
2年 11巻	259		変更	実験3を変更した。	2編集の具体的方針 (2)による。 資料2年4-6を参照
2年 11巻	263		変更	実験4を変更した。	2編集の具体的方針 (2)による。 資料2年4-7を参照
2年 11巻	269		変更	実験5を変更した。	2編集の具体的方針 (2)による。

					資料2年4-8を参照
2年 12巻 単元 4 第3 章	272	つな がる 科学	変更	<p>名前が単位名になった科学者たちの人名と功績を整理してミニ知識とした。</p> <p>ミニ知識</p> <p>1. アンドレ・アンペール(フランス、1775年～1836年)は、電流とそのまわりにできる磁界の関係を明らかにしたので、電流の単位はアンペアになった。</p> <p>2. アレッサンドロ・ボルタ(イタリア、1745年～1827年)は、亜鉛板と銅板で電気を発生させる装置(電堆)を発明したので、電圧の単位はボルトになった。</p> <p>3. ゲオルグ・オーム(ドイツ、1789年～1854年)は、抵抗器の両端の電圧と流れる電流の大きさが比例するという関係を見いだしたので、電気抵抗の単位はオームになった。</p>	2編集の具体的方針(1)による。
2年 12巻	275		変更	実験1を変更した。	2編集の具体的方針(2)による。 資料2年4-9を参照
2年 12巻	279		変更	実験2を変更した。	2編集の具体的方針(2)による。 資料2年4-10を参照
2年 12巻	283		変更	実験3を変更した。	2編集の具体的方針(2)による。 資料2年4-11を参照